

第1回和歌山県立夜間中学設置準備委員会（協議概要）

1 日 時 令和6年5月22日（水） 13:30～15:00

2 会 場 新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」会議室

3 協議内容

- (1) 対象となる生徒（どこにどのようなニーズがあるか）
- (2) ニーズ調査
- (3) 修業年限
- (4) その他

4 委員による主な意見（欠席委員含む）

(1) 対象となる生徒

- ・外国籍の方をどこまで受け入れるか（技能実習生や企業で勤める方をどうするか）
- ・地域の特性上、三重県在住者も生活圏となっているが、三重県在住者の入学をどうするか
- ・きのくに学びの教室の受講生は、新宮市、串本町、本宮、熊野市（三重県）など、広い範囲から来られている
- ・学齢期の不登校生徒の選択肢の一つとして、夜間中学があればよいと考える

(2) ニーズ調査

- ・定員等を定めるにあたって、ニーズ調査が必要ではないか
- ・ニーズ調査をすることは、単にニーズを把握するだけではなく、夜間中学を周知することにもつながると思う
- ・紙媒体やフォーム形式が考えられるが、高齢の方にとっては紙媒体の方がよいし、アンケートの内容も、細かく書いてしまうと回答できなくなってしまうため、配慮が必要である
- ・きのくに学びの教室のパンフレットがさまざまな言語で書かれているように、多言語でお知らせすることも大事だと思う
- ・やさしい日本語を使うことも大事である
- ・県民の友や市町村の広報誌等にも掲載したり、回覧板を活用したり、幅広く周知しながらできたらよいと思う

(3) 修業年限

- ・夜間中学も中学校なので、法令上は3年となっているが、在籍年数を多様な形で柔軟に6年、9年、12年と、自治体ごとに決めている実態がある
- ・できるだけ少ない時間で、高校受験を可能にするため、状況によっては必ずしも1年生からの3年間ではなくてもよいと考える

(4) その他

- ・夜間中学がさまざまな方にとって、安心できる場となってほしい
- ・交通の便が悪いが、何か手立てがあれば通いやすくなる
- ・きのくに学びの教室を開講する際、回覧板やポスターで周知したが、見つけた方が口コミで広めてくれた。口コミが一番効果的だった